

すべての項目を間違いなく記入してください。訂正する場合は、被保険者の訂正印を押印してください

介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修事前申請書

フリガナ			保険者番号				
被保険者氏名			被保険者番号	0	0		
生年月日	明治・大正・昭和		年	月	日生(満)	歳)	
住所	介護保険被保険者証に記載されている住所で、実際に居住している住宅に限る						
要介護度	要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5						
認定有効期間	年		月	日から	年	月	日まで
住宅の所有者等	持家・借家	所有者氏名	被保険者との関係()				
改修内容箇所及び規模	着工予定日時点の要介護度の状況を記入						
	着工予定日	年	月	日			

持家又は借家に○をつけてください。

①借家の場合
承諾書を添付

②持家の場合
固定資産税納税通知書のコピーを添付
納税通知書の納付義務者と改修する住所が記載されている部分をコピーして提出
納税通知書が無い場合は名寄帳等の家屋所有者及び住所が分かる書類を添付

着工予定日を記入
申請から承認決定まで2週間程度の期間がかかります。承認決定前に着工する場合は「介護保険住宅改修費事前申請承認決定前の着工について」の提出が必要です。

ご注意 ※申請書には、介護支援専門員等作成の「住宅(内訳書)」、日付入りの「工事着工前の写真(介護保険適用工事の箇所のすべてについて。また該当部分のみではなく全体が判るもの)」、「工事箇所図面(介護保険適用工事の箇所のすべてに説明を記入のこと)」を添付してください。
※被保険者の所有でない住宅を改修する場合は、所有者の承諾書も添付してください。

改修費用総額	介護保険給付額	被保険者自己負担額
円	円	円

くすのき広域連合記入欄

既利用額	円	給付制限	有・無
------	---	------	-----

申請を受理し、決定してほしいか。

総務課長	課長代理	本部担当	支所長	支所担当者	年	月	日	受付
					年	月	日	決裁

本人（又は家族）以外の代理人が申請書を提出する場合に提出してください

介護保険住宅改修事前申請にあたっての委任状

年 月 日

くすのき広域連合長 様

被保険者氏名 _____ (印)

わたしは、下記の者を代理人と定め、介護保険に係る住宅改修の事前申請について委任します。

記

代理人氏名	被保険者との関係
所属事業所等の 所在地 名称	電話番号 ()

ご注意

被保険者の代理人が申請する場合は、委任状が必要となりますので、必ず記載してください。

書類を提出する代理人名を記入
被保険者との関係の欄には、施工事業者が提出される場合は施工業者、
担当のケアマネジャーが提出される場合はケアマネジャーと記入

借家の場合に提出してください。
家屋所有者の承諾が必要になります。

承 諾 書

年 月 日

借受人 _____ 様

家屋所有者 住 所

氏 名 _____

印

私の所有する下記家屋の下記部分について、介護保険制度による住宅改修を承諾します。

家屋所有者の住所・氏名を記入し、押印

● 承諾する家屋

住 所 _____

借受人 _____

● 承諾する住宅改修の種類

- 手すりの取り付け
- 段差の解消
- 滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更
- 引き戸等への扉の取替え
- 洋式便器等への便器の取替え
- その他、上記各号の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修

承諾する住宅改修の種類にチェックを記入

住宅改修が必要な理由書は担当のケアマネジャー（介護支援専門員）または地域包括支援センターの方が記入してください。
 ※原則、福祉住環境コーディネーター、施工業者の記入は認めていません。

記載例

くすのき広域連合 住宅改修が必要な理由書

〈基本情報〉

利用者	被保険者番号	0 0	生年月日	明治 大正 昭和	年 月 日生(満 歳)	現地確認日	年 月 日	作成日	年 月 日
	被保険者氏名		要介護認定(該当に○)	要支援	要介護	所属事業所			
	住所				1・2	1・2・3・4・5	資格 (作成者が介護支援専門員でないとき)		
						氏名			
						連絡先			

〈総合的状況〉

利用者の身体状況	身体障がい（肢体・視覚・聴覚）、疾病（急性・慢性・進行性）、立ち上がりやバランスの保持、移動といった生活動作（ADL）、屋内の移動方法（つかまらないで歩ける・つたい歩き・介助歩行・杖や歩行器車いす等の利用、介助の必要性）、屋外に関連する改修をする場合は、屋外の移動方法等をなるべく具体的にわかりやすく記入	福祉用具の利用状況 住宅改修後の想定	改修前	改修後
介護状況	介護サービスの利用状況や家族の介護状況を記入（見守りの状況、頻度など）	●車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住宅改修により利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修によって、利用者・家族は介護状況、ADL、社会参加など、日常生活をどう変えたいか（例） 自宅で転倒を繰り返しており、外出意欲が低下している。自宅内でも横になっていることが多く、活動が低下傾向にある。自宅内の移動及び外出するための動線を整備することで安全性を確保し、身体的・精神的な負担軽減を図り、生活に活気をもたせ、身体機能を維持したい。	●特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●歩行器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●歩行補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●認知症老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●移動用リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	●入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	●その他			
	・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

その他、特記すべき事項があれば、ご記入願います

改修前と改修後の福祉用具の利用状況にチェックを記入

住宅改修が必要な理由書

※おもて面の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作 ②具体的な困難な状況 ③改修の目的と方針 ④改修

改修内容を工事の種類ごとに記入
改修場所及び取付数を記入

活動	① 改善しようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況 (…なので…で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針 (…することで…が改善できる)を記入してください	(1) 改修項目	(2)
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便器からの立ち座り (移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()	<p>今回の住宅改修によって改善しようとしている具体的動作についてチェックを記入</p>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<p>①②の記述を確認し、現状の問題点をふまえた上で、改修目的の項目ではまるものすべてにチェックを記入</p>	<input type="checkbox"/> 手すりの取付け () () () ()
入浴	<input type="checkbox"/> 浴室までの移動 <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 浴室内での移動(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) <input type="checkbox"/> 浴槽の出入(立ち座りを含む) <input type="checkbox"/> 浴槽内での姿勢保持 <input type="checkbox"/> その他()	<p>生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を、本当は…したいが、実際には…しかできないので…について困っているというように具体的に記入</p> <p>・動作のレベル(立ち上がる、歩く、車いすを押す、またぐ、段差昇降、扉を開閉する等)どのように困難なのか</p>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<p>困難な状況を改善するためにどのような住宅改修を行うのか、利用者や家族はもちろん、住宅改修の専門家と一緒に検討した方針と期待する効果を記入</p> <p>・可能な限り高さ、位置等も記入</p> <p>・敷居を撤去して平らにする、かさ上げ、式台設置、スロープの設置等具体的な改修方法を記入</p> <p>(例) 床から0cmの高さに手すりを設置しつかまる所を作ることなどで、またぎ動作時のバランス保持をはかる。</p>	<input type="checkbox"/> 段差の解消 () <input type="checkbox"/> 滑りの防止等のための床材の変更 () () ()
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()	<p>・生活のどの場面、どの動作が利用者・介助者にとって大変なのか</p>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<p>引き戸等への扉の取替え () () <input type="checkbox"/> 洋式便器等への便器の取替え () ()</p>	
その他の活動	<p>その他の活動の欄に排泄・入浴・外出以外の生活動作について記入</p>	<p>①のチェックと②のコメントを合わせて、住宅改修を必要とする利用者の状況が伝わるように記入</p>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()	<p>(例) 廊下と居室の0cmの敷居を撤去し平らにすることで、転倒の危険性をなくす。 など</p>	<input type="checkbox"/> その他 () () ()

工事見積書(内訳書)

年 月 日

被保険者氏名

くすのき たろう 様

施工業者 所在地
(会社名) 名称



部屋名	部分	名称	内訳(仕様)	数量	単価(円)	金額(円)	対象部分		住宅改修の種類	算出根拠 (定価・按分比率等)
							数量	金額(円)		
1階洋室	壁	既存撤去	PM 12mm撤去	△ m ²	△△	△△△	○ m ²	△△△	(1)	手すり設置に係る対象部分を○m ² で算出
		下地補強および壁仕上げ	PM 12mmクロス貼り	□ m ²	□□	□□□	○ m ²	○○○	(1)	同上
	壁	手すり	木製(金具SUS)	○ m	○○	○○○	○ m	○○○	(1)	
		同取付け代金		△	△△	△△△	△	△△△	(1)	
		1階洋室 計				□□□□		○○○○	(1)	
1階DK	床	既存床撤去				△△△	1 式	□□□	(3)	対象部分に係る大工手間を○/△で按分
	床	フローリング張り			△△	○○○	○ m ²	○○○	(3)	
		1階DK 計				□□□□		△△△△	(3)	
		小 計								
		諸 経 費		□ %		○○	□ %	○○		
		合 計				○○○○		○○○○		
		消 費 税		△ %		△△△	△ %	△△△		
		総 合 計				□□□□		□□□□		

介護保険対象部分を明示する
(別紙に抜き出してもよい)

対象部分を抽出する場合は、工事範囲を明示する

介護保険対象部分に係る工事については、材料費(仕様を明記する)と施工代金を適切に区分する

対象範囲を明示するのが困難な項目については、按分をしてその根拠を示す

住宅改修の種類を明示する

見積書を提出する際には次のことに注意して作成してください。

- ・改修の種類・箇所ごとに商品名、単価、数量等が区分して記載されていること
- ・材料費、工賃、諸経費が区分して記載されていること(工事一式等は不可)
- ・介護保険支給対象外の工事が含まれている場合、保険給付の対象部分が明示されていること。対象範囲を明示するのが困難な項目については、適切な方法で対象範囲を案分し、根拠が明示されていること
- ・1つの部材を切って数箇所に使用する場合は、箇所ごとに使用料の記載を行い、複数個所で使用する旨が記載されていること
- ・見積書に社名等が記載され、社印が押印されていること
- ・見積書の宛名が被保険者本人(フルネーム)であること

改修前写真

被保険者氏名

[枚中 枚目]

改修箇所 浴室 便所 玄関 廊下 居室 台所 階段 その他()

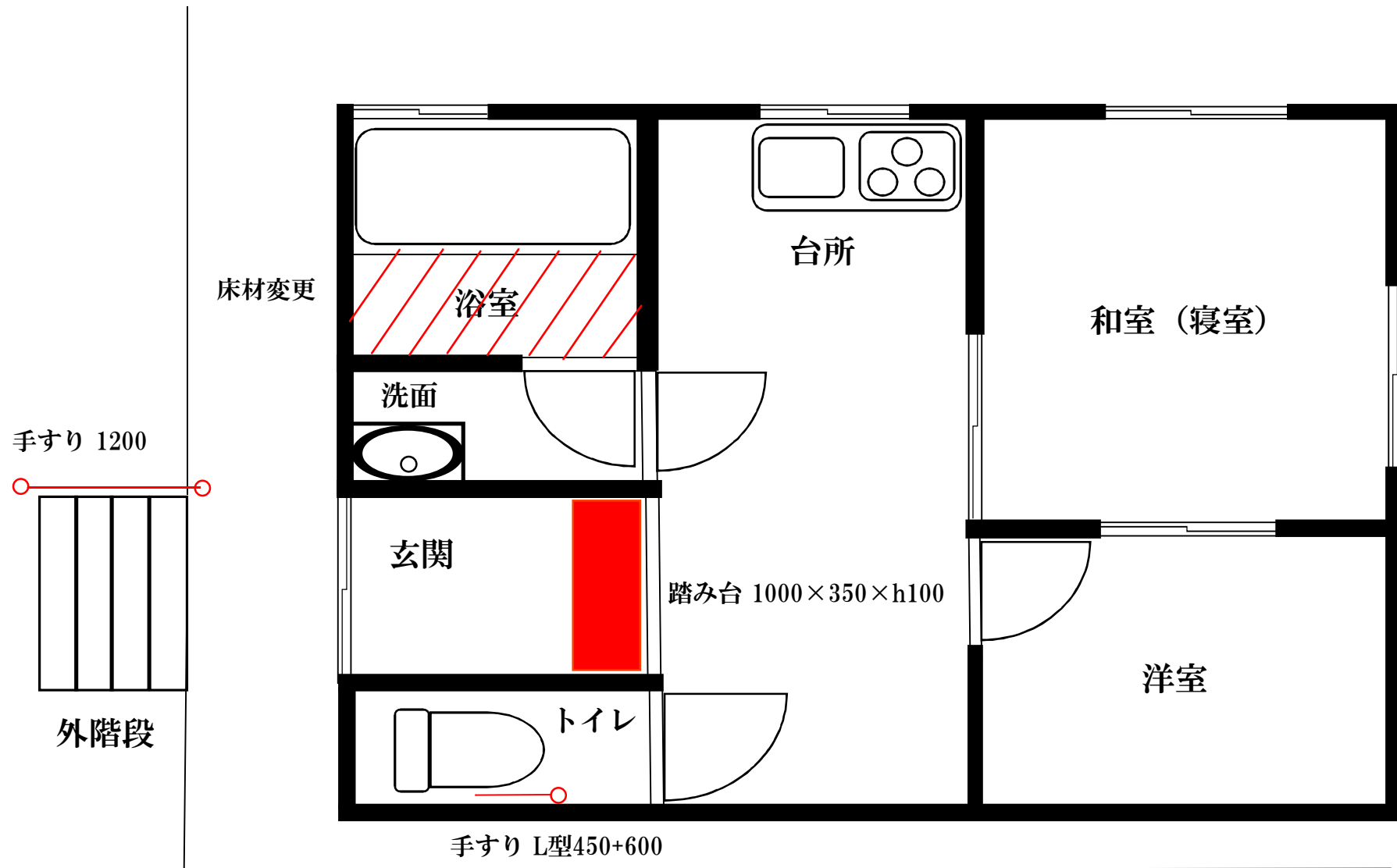
改修種類 ①手すり取付 ②段差解消 ③材料変更 ④扉取替 ⑤便器取替 ⑥付帯工事

改修箇所及び改修種類にチェックを記入

ここに写真を貼ってください

- 写真は撮影日がわかるようにしてください。(黒板等に日付を入れて撮影する等。)
- 改修箇所の状況に応じて遠景・近景にわけて改修箇所の全体が分かるように撮影してください。(1枚で写りきらない場合は、複数枚に分けて撮影してください。)
- 段差解消の改修を行う場合は、段差にメジャー等をあてて、現状の高さ等が分かるように撮影してください。
- 敷居など両側に段差がある場合は、それぞれの方向から撮影してください。
- 改修内容が分かるように写真上に示してください。
- 写真に工事個所の明記が難しい場合は、カタログ等で工事後の完成図がわかるようなものを添付してください。

〇〇様邸 住宅改修



- 任意の形式により、次の内容に注意してわかりやすく作成してください。
- ・要介護者本人の動線がわかり、改修の位置が確認できること
 - ・図面で工事内容が把握できるものであること
 - ・平面図で内容の記載が困難な場合は、断面図等に内容を記入すること
 - ・カタログにない特注品等を使用する場合は、図面に寸法等が記入されていること